

2021年10月11日 聖書朝礼

「主はあなたのために、御使いに命じて あなたの道のどこにおいても守らせてくださる。/彼らはあなたをその手にのせて運び 足が石に当たらないように守る。/あなたは獅子と毒蛇を踏みにじり/獅子の子と大蛇を踏んで行く。」
～ 詩編91 ～

全校の皆さん、お早うございます。

突然ですが、皆さんはボディーガードを知っていますね。ボディーガードは、皆さんも知っている通り政府首脳、国賓、会社役員、著名人等、要人の身の安全を確保し、誘拐、暗殺などの脅威から守る人を言います。私はボディーガードが欲しいと思ったことはないですが、皆さんはありますか。聖書にはこのボディーガードと似ている存在がいます。それは天使です。今日は守護の天使について少し話します。

カトリックでは10月2日を守護の天使の祝日と定めています。守護の天使は、一人一人についていて守り導く天使のことを言います。神さまが人間につけた天使で、その守護する対象に対して善を勧め、悪を退けるようその心を導くとされます。聖書には皆さんも知っている天使の名前が結構ありますね。聖母マリアにお告げを伝えたガブリエル、旧約聖書で言うとトビトの目を直したラファエルをはじめ、人間を助け守る天使の話が色々な箇所書かれています。天使の名前を持っている人も多いですね。ルネサンス時代の代表的な3人の画家の2人の名前も天使の名前ですね。ミケランジェロとラファエルです。私たちの身近には、マドレ・アンヘレスがいますね。アンヘレスはスペイン語で天使という意味で、先に言った10月2日が祝日です。

守護天使に関するキリスト教の教義は神学者トマス・アクィナスによって集成されました。トマス・アクィナスによると、全ての人々、クリスチャンであれ、それ以外であれ、たとえ大罪人であれ、決して離れることのない守護の天使がついていると彼の著書で説明しています。守護の天使とその守護する人間との関係について、守護の天使は、人が自由意思を悪の方向に用いようとした時にも、それを止めさせることはしないですが、その心を照らして良い方向に向けて靈感を吹き込むことだけをする。さらに守護の天使とのコミュニケーションについて、人は天使に語りかけることが可能で、天使たちはその必要性、希望によって人間に語りかけ、啓蒙する、つまり人々に新しい知識を与え、教え導きます。

皆さんのクラスに掲示している「今週の聖句」のプリントの小さい絵は私の好きな守護の天使の絵です。激しい風の時も、壊れた橋を渡ろうとする時も、悩み苦しむ時も寂しい時も、子どもの時も大人になってもいつもそばについて守り尽くしている守護の天使の暖かさが伝わるこの絵が好きです。皆さんも勉強や色々な事が上手くいかない時、不安を感じる時、寂しい時に、耐える方法はいろいろあると思いますが、いつもそばで励ましてくれる天使の事も思い出してかづけられるといいと思います。

アンジェラスの鐘のアンジェラスもイタリア語の天使という意味です。天使の鐘が毎日鳴るわけですので、アンジェラスの鐘の時は自分の守護の天使の事も思い出していつまでも、私たちが悪いことから守り良い方向に導いてくださいますように祈っていきましょう。

✠わたしを守る神のみ使いよ、主のあわれみによってあなたにゆだねられたわたしを、照らし、守り、支え、導いてください。アーメン。

